

『両町の友情都市の契り』（毛呂山町役場ロビー）

# 毛呂山町と宮崎県木城町 友情都市の盟約締結10周年を迎えて

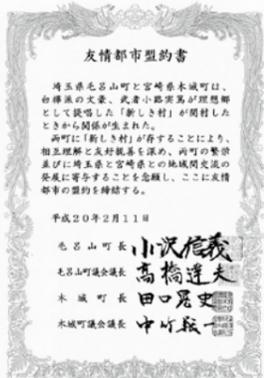
武蔵小路実篤氏が提唱した理想郷

『新しき村』が縁で友情都市盟約締結

毛呂山町と宮崎県木城町には、白樺派の文豪、武蔵小路実篤氏が理想郷として提唱した『新しき村』が存在しています。この関係から、相互理解と友好親善を深め、両町の繁栄と毛呂山町と木城町との地域間交流の発展に寄与することを目的に、平成20年2月11日に、友情都市の盟約を締結してから10周年を迎えます。

この間、産業まつりなどにおける、両町の特産物の紹介や、小・中学生による、武蔵小路実篤氏ゆかりの絵画や書写の交換を通じて教育文化の交流も図っています。

今年、『新しき村』が創立して100周年を迎えます。これから、両町の発展の為、益々の交流を図り、友情を深めていきます。



扉をひらくと...



「あれあれ」の布絵本は図書館1階おはなしコーナーにもあります♪



おひなさま!



## ページをめくるたび、わくわく！ 奥深き「布絵本」の世界

毛呂山町立図書館で活動する布絵本サークル「あれあれ」の片柳延子さんが、群馬県桐生市で開催された「第10回手づくり布の絵本全国コンクール」で見事、織物のまち大賞を受賞されました！

「図書館の活動日以外でも、家で毎日制作しています。FMラジオを聞きながら、夕飯づくりの時間まで黙々と...」。そう話すのは、群馬県桐生市で開催された「第10回手づくり布の絵本全国コンクール」で、全国9都県から集まった59点の中から、最高賞となる織物のまち大賞を見事受賞された片柳延子さん。

「10年くらいに毛呂山に越してきて、6年くらいに『あれあれ』に入りました。もともと、娘や孫に服を縫ったりはしてはいたけれど、布絵本づくりはしたことがなかった。しかしやってみるとすごく楽しくて、今ではライフワークです。」

大賞に選ばれた作品「どこかで春が」は同タイトルの童謡を基に、雪がやんだ暖かい日に春の訪れを告げる植物などを見つめるストーリー。実際に作品を拝見させていただくと、フキノトウの葉の重なりまで黄緑のフェルトで緻密に再現されていて思わず目を見張りました。

「この図書館はかなり利用しています。制作する上で農家の家のたたずまいが知りたくなったら農家に関する本を借りて調べたり...だからこの図書館に来て、私はだいぶ知識が身につきました。(笑)」

絵本の中は、木々や河川など自然が鮮やかに表現されていますが、これらは毛呂山町の自然を参考に制作することが多く、よく自転車で町内を回り、四季の移ろいを観察しているそうです。

「毛呂山は自然豊かで、大好きな町です。過去に、JR八高線を題材とした「八高線の旅」という布絵本を作ったこともありま



### 友情都市盟約締結10周年記念式典を実施

平成29年11月18日、毛呂山町産業まつりにおいて、毛呂山町と宮崎県木城町との友情都市盟約締結10周年記念式典を開催しました。

式典では、毛呂山町井上健次町長と木城町半渡英俊町長による、両町の町の木「ゆず」と「カシ」の苗木の交換を行いました。

また、記念行事として、両町の益々の発展と更なる友情を願って、木城町の町の木、「カシ」の苗木の記念植樹を行いました。

ページを完成させるのに費やす時間はなんと一ヶ月！パーツとなる布は正確に切る必要があるため、ます同じ大きさの紙にきっちり下絵を描き、大きさを確認してから作品にとりかかるといいです。



持ってみるとこんな感じ

## あれあれ 手づくり展

日時 2月17日(土)～23日(金)  
午前10時～午後5時

※19日(月)は休館最終日は午後4時までです。

場所 毛呂山町立図書館2階読書室

「布絵本あれあれ」のみなさんの作品展です。布絵本だけでなく、いろいろな手づくり作品も一緒に展示します。コンクールで大賞を受賞した片柳延子さんの作品の凱旋お披露目もを行います！



21日(水)午前10時～正午まで、「あれあれ」の活動の様子を見学できます！

▼問合せ  
毛呂山町立図書館 ☎049(295)1015

### 毛呂山町新しき村 (新しき村美術館提供)



### 宮崎県木城町日向新しき村 (宮崎県木城町提供)

